



宮の原学校図書館だより

令和元年 6月 第20号

6月に入り雨の日が多くなりましたね！落ち着いて読書を楽しむチャンスです！

今回はみなさんの学校の図書館司書や司書教諭がおすすめする本の紹介です。みなさんも、ぜひ読んでみてください。お気に入りが見つかるかもしれません。



宮の原中学校図書館司書 松枝 智子

「黒猫・黄金虫」 エドガー・アラン・ポー著 908/ニ/13

皆さんは、ミステリー・推理・探偵という言葉を知っていますか？シャーロックホームズ？金田一耕助？名探偵コナン？今回、紹介する本は、これらの推理小説の父と呼ばれたポーの作品です。ポーは、今から約170年前の人ですが、作品は今読んでもぞくぞくとさせられます。「黒猫」は、生活も心も不思議な男が、かわいがっていた黒猫を殺してしまいます。ところが、全く同じ黒猫が男の前に現れるのです。黒猫に怯える男がとった行動とはいったい何か……。ポーの作品は、短編がほとんどです。短いお話の中で、人の心の恐怖や謎の解明をしてくれます。この方法は、現代の推理小説のお手本になっています。小中学生のうちに、ぜひ読んでおいてほしい本です！



富士見小学校司書教諭 古谷 仁美

「あるかしら書店」 ヨシタケシンスケ著 72/ヨ

どんな注文にもこたえてくれる本屋さんの話です。ありえないけどありそうな本がたくさん出てきます。絵本ですが、大人や中学生が見ても、楽しめる絵本です。絵を見ているだけでも、なんだか楽しくなってきます。「あるかしら」と聞くと「ありますよ。」と答えてくれる本屋さんが、最後に「それはまだないですよ。」と答えた本はいつか？



今回は学校園クイズだよ！ 6月15日は「栃木県民の日」でしたね。栃木の方言、皆さんはいくつ分かるかな？線で結んでみよう！ こたえは図書館で見てね！

〈方言〉 出典『栃木県方言語源辞典』『ごじゃっぺこくでね〜栃木弁大全集』

しこる	やけっぱた	かせる	よばれる	がめる	ぼうでんき 棒電気
かぶれる	ご馳走になる	いば張る	やけど 火傷	かいちゅうでんとう 懐中電灯	ぬす 盗む



明保小学校図書館司書 島田 雅子

絵本「きょうはなんのひ」瀬田貞二著・林 明子絵 E/セ

私の娘に幼いころ読んであげた絵本です。朝、学校に行くまみこはおかあさんに、「きょうはなんのひだか、しってるの・・・？しらなきやかいだん三だんめ」と謎の言葉を残して出かけてます。おかあさんが階段を見ると、そこには赤いひもで結ばれた手紙がありました。その手紙には「ケーキのはこをもらなさい」と書いてありました。箱の中にはまた手紙・・・次々と手紙を見つけていったお母さんが最後に見つけたものは？ 手紙を見つけていく様子も楽しいし、読んでいて心がホカホカ温まります。



すがたがわだいにしょうがっこうとしょかんししょ くりはらさちこ 姿川第二小学校図書館司書 栗原沙知子

「カラフル」森 絵都著 913/モ

死んでしまった主人公の「ぼく」。ぼくは生前犯した大きな過ちを思い出さなければ、輪廻転生のサイクルに戻ることができなくなってしまう。ぼくは自殺した中学生「小林真」の体を借りて生き返り、生前の罪を探します。自殺した小林真は不運だらけの人生です。勉強のこと、友人のこと、家族のこと・・・。繊細な小林真は、たくさんのことに悩んで傷つきます。この本を読んでみると、そんな小林真に共感するところがたくさんあると思います。しかし見方を少し変えただけで人生は前向きになる、ということも教えてくれる物語です。みなさんもぜひ、読んでみてください。

